

城北信金

新聞活用し新人研修

グループで発表力養う

城北信用金庫（東京 王子本部で新入職員85都、大前孝太郎理事長）人を対象に金融専門新は11月12、13日、17日、聞を使ったスクラップ



合っ入
しで記
話しで
て、模
各 班 造紙
する内
（11月
本部）

り抜き、記事を選んだ理由、学んだこと、金庫で生かしたいことなどをグループで発表した。

研修を実施した。新聞を読み習慣を身につけ、記事を読み解き、

自分の考えを発表する力、金庫業務に生かす力を養うこと。新入職員は入庫前の3月から8カ月間、毎週1本の記事をスクラップし、コメントを記入。所属部店配属後は、朝礼時に発表してきた。

「コロナ禍で非対面ニーズの高まりに対して、対面を強みとする信金に何ができるか」など、各班5分以内で発表した。

同信金の研修担当と専門紙の記者が講評。参加者からは「他の人の意見を聞くことで視野が広がった」との感想。採用研修部は、「コロナ禍で新入職員が集まる機会が少ないなか、同期同士の融和も図れた」と評価した。

